

32) アポイ岳 (日本) :

- i. 中田節也氏は利害の対立を宣言したため退席し、討論と採決には出席しなかった。
- ii. 議論の概要。カウンシルでは、当ジオパークの規模が小さいにもかかわらず、このジオパークの文化の強さ、またジオパーク内にアイヌ文化を強調し、よりよく取り組むことの重要性が議論された。

アポイ岳 (日本) の再審査報告書のレビューを受け、UGGpC は以下の指摘事項と共にグリーンカードを授与することに決定した :

1. ジオパークの認知度を高めるため、大学、組織、旅行会社とのパートナーシップ戦略をさらに推進する。
2. 観光マーケティング振興戦略をさらに強化し、様似町住民の雇用と雇用創出のために多くの観光客を誘致する。
3. UGGp にアイヌ文化を取り入れ、促進する努力を持続する。
4. すべてのジオパーク広報資料において、地球科学に関する説明をさらに強調する。町立様似図書館のアイヌアニメーションに、伝説の物語に加えて地質学の知識を加えることを検討する。
5. 地域 (APGN) や世界 (GGN) のジオパークネットワークにもっと参加し、他の UGGp とのパートナーシップを検討する。

カウンシルの議論から全会一致でグリーンカードが投票された。